

平成30年度 TOHOKUデザイン創造・活用支援事業について ①

おいしい東北パッケージデザイン展2018、おいしいを一緒に作るデザインコンペ（報告）

事業の目的

デザインの活用による商材の販売促進・ブランド化を推進し、知的財産としてのデザインへの意識啓発および制度普及を図る

東北地域には、優れた技術力や高い品質を備えた商品、およびそれを生み出す企業が多数存在する。しかしながら、デザインによる商材の差別化・高付加価値化を意識し、実践できている企業等は少なく、商材の魅力をより強く内外に発信するためには、パッケージ等におけるデザインの創造・活用が非常に有効である。加えて、知的財産として認識し、権利として保護することも、デザインを活用していく上で重要である。本事業では、デザインの総合的な創造・活用支援体制を構築。また東日本大震災から7年が経過し、新事業や販路開拓にチャレンジする東北地域の企業による商品のブランド化や販売促進をデザインの側面から支援する。また展示会やフォーラム等を開催することによって、東北地域におけるデザインの創造・活用・保護に対する意識啓発、制度普及を図る

事業の内容 おいしい東北パッケージデザイン展2018：東北の企業から選定した8商品に対し、全国のデザイナーからデザインを公募

① 対象企業（商品）の公募・選定



東北6県から8企業（8商品）を選定
●応募件数：14社 14商品
●内1社1商品はデザインコンペへの参加に変更

② 作品の公募



全国のデザイナーから作品を公募
●ヒアリングシート・映像で企業（商品）を紹介
●応募点数：387点

③ 審査



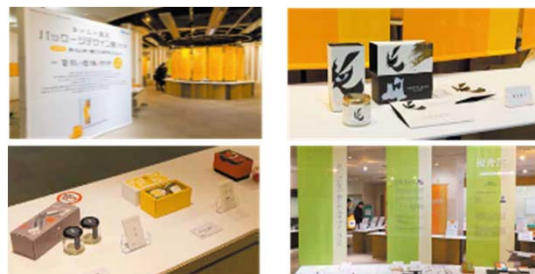
審査委員7名（各商品の参加企業1名、外部審査委員5名、東北経済産業局1名）が投票とディスカッションにより審査。
●優秀賞：8点（内1点グランプリ）
●奨励賞：16点
●学生優秀賞：4点
●審査委員賞：5点

企業名・商品名	応募点数			入選点数		
	一般	学生	合計	一般	学生	合計
1 ヤマサ食品(株)・保内ふたば漬(仮称)	25	11	36	11	2	13
2 数々長醸造(株)・白だし(仮称)	26	17	43	14	3	17
3 ニイマヤ(株)・きりー・オジュースとガスバチス(仮称)	24	24	48	15	7	22
4 日南工業(株)・秋田みそ	34	14	48	15	3	18
5 城東工業(株)・冷たいラーメン	34	9	43	17	4	21
6 (株)宮城の産物・紙上・小倉羊羹 海産物	28	14	42	13	5	18
7 (有)くたもの煙くたもの煙のりんごジュース	47	43	90	11	7	18
8 玉島醤油(株)・福島県産原料しょうゆ	26	11	37	14	4	18
合計	244	143	387	110	35	146



優秀賞8点

④ 展示会



東北電力グリーンプラザにおいて展示会を開催。3,437名が来場。
●日時：平成30年12月11日（火）～16日（日）10：00～18：00
●展示内容：受賞作品32点、入選作品131点、過年度成果品ほか

⑤ 表彰式・フォーラム・交流会



仙台国際センターにおいて表彰式・フォーラム・交流会を開催（12/14）102名参加。
●表彰式：受賞者にトロフィーや賞状の授与
●基調講演：「地産デザイン～えびノ干し塩プロジェクト～」高谷 薫氏
●講師：加藤審査委員長・大迫審査委員・左巻審査委員
●成果報告：（有）マルハ産業 原田真行氏

⑥ フォローアップ



各企業を訪問し、優秀賞作品の実用化に向けフォローアップを開催。デザイナーと知財の専門家が出席し、デザインの修正と知財に関する契約条件を協議。
●平成30年度中に全企業がデザイナーと契約締結

事業の協力

東北農政局、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、仙台市、独立行政法人中小企業基盤整備機構 東北本部、一般社団法人東北経済連合会、公益社団法人日本グラフィックデザイナー協会、益社団法人日本パッケージデザイン協会、東北電力グリーンプラザ、日刊工業新聞社東北・北海道総局、河北新報社、NHK仙台放送局、東北放送、仙台放送、宮城テレビ放送、東日本放送ほか

これまでの本事業の成果（2014年度～2017年度）

- ①受賞デザインを使用し商品化した企業58%、知財権を取得した企業25%、売り上げ増加企業34%
- ②知財活用に関する意識の向上がみられ、参加企業の他の複数の商品においても商標出願等がなされている。
- ③参加した全企業がデザインに対する意識が高まり、デザインを買い取りシリーズ展開したり、名刺やトラックの広告などを同じデザイナーへ継続依頼する企業も出ている。

平成30年度 TOHOKUデザイン創造・活用支援事業について②（報告）

おいしい東北パッケージデザイン展2018、おいしいを一緒に作るデザインコンペ

事業の内容 おいしいを一緒に作るデザインコンペ：1社あたり3名のデザイナーが、企業と一緒に商品の魅力が伝わるデザインを考え、企画・提案されたパッケージデザインをコンペ

① 対象企業（商品）、デザイナーの公募・選定



東北6県から2企業（2商品）を選定
東北ゆかりのデザイナー 3名/1 商品を選定
デザイナー10名のエントリーに対し、1商品
当たり各3名のデザイナーを選定

② デザイナーによる企業訪問（→ デザインの検討）



デザイナー各3名が対象企業を訪問し、商品コンセプト、
ターゲット市場などを聞き取り、デザイン企画、パッ
ケージデザインの検討を開始

③ デザイナーによるプレゼンテーション → 審査



各3名のデザイナーが、デザインコンセプトやパッ
ケージデザインのプレゼンテーションを行った
後、審査委員（対象企業2名、外部審査委員5名）
による審査、協議を行い、優秀賞各1点を選定

④ 展示会



東北電力グリーンプラザにおいて展示会を開催。3,437名が来場。
●日時：平成30年12月11日（火）～16日（日）10：00～18：00
●展示内容：優秀賞2点、次点4点

⑤ 表彰式・フォーラム・交流会



仙台国際センターにおいて表彰式・フォーラム・交流会を開催（12/14）102名参加。
●表彰式：受賞者にトロフィーや賞状の授与
●基調講演：「地産デザイン～えびノ干シ塩プロジェクト～」高谷 謙氏
●講評：加藤審査委員長・大迫審査委員・左合審査委員
●成果報告：（有）マルハ産業 原田真行氏

⑥ フォローアップ



各企業を訪問し、優秀賞作品の実用化に向けフォローアップを開催。
デザイナーと知財の専門家が出席し、デザインの修正と知財に関する
契約条件を協議。
●平成30年度中に全企業がデザイナーと契約締結